

腸管出血性大腸菌（^{オー}O157）の同一遺伝子型菌株の検出について

平成 29 年 8 月に富山県内で発生した腸管出血性大腸菌感染症 2 事例（3 名）について、国立感染症研究所において遺伝子検査をしたところ、関東地方を中心に発生している腸管出血性大腸菌(O157)の食中毒事案と同一遺伝子型であることが、本日、判明しましたのでお知らせします。

なお、これら 2 事例については感染は終息し、患者も快復しており、感染の広がりはありません。

また、発生源は不明です。

1. 国立感染症研究所の検査結果

	診断月日	菌株	結果	
1	8 月 11 日 30 歳代女性	O157VT2	遺伝子型一致	8 月 14 日公表 (富山市保健所管内発生)
	8 月 17 日 70 歳代女性	O157VT2	遺伝子型一致	8 月 18 日公表 (富山市保健所管内発生)
2	8 月 21 日 50 歳代男性	O157VT2	遺伝子型一致	8 月 21 日公表(高岡厚生センター管内発生)

2. 県の取り組み

県では、感染症法に基づき腸管出血性大腸菌による届出があった場合は、喫食状況調査及び行動調査を実施しています。

3. 予防対策の周知をお願いします

- ・調理の際、食事の際、トイレの後など手洗い消毒を徹底しましょう
動物とふれあった後にも、必ず石けんを使用して十分に手洗いをしましょう
- ・肉類や加熱する食品は十分に加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
※生食用の牛レバーは提供・販売されていません。
- ・生野菜は流水でよく洗いましょう
- ・調理器具を使い分けましょう
生肉が触れたまな板、包丁、食器等は、生野菜や加熱済み食品を汚染しないよう、十分洗浄消毒してから使いましょう
※焼肉やバーベキューを楽しまれる場合は、生肉専用の箸やトングを使用し、食べるときの箸と使い分けをしましょう

■下痢等の症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診察を受けましょう

4. 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

	富山県	全国
平成 29 年	27 名 (9/19 現在)	2,776 名 (9/10 現在)
平成 28 年	47 名	3,641 名
平成 27 年	25 名	3,573 名

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。